

平成20年度  
薬物乱用防止中堅指導員研修会

平成20年10月20日～21日  
石垣記念ホール

魅力ある授業の話し方

【教室での授業形式の場合】・・・生徒の士気、安心感・リラックスできる

1. 「まず、スタート！」  
声は大きく、はっきりと話す。迫力が大事。  
子供は初対面の人の話に興味を持つ。・・・初めの一声が重要  
生徒や学校の実態、住んでいる町などを調べ、なるべく褒め話題にする。
2. 「話す内容」・・・子供は15分くらい話すとおきる  
自己紹介、自分の会社の紹介、自分の仕事内容  
身近な話題、テレビの話題、自分の中学生時代、趣味、失敗談、  
仕事以外で熱中していることなどで、子供の興味を引き付ける。  
本題  
失敗談はよいが「学生時代はこんな悪さをした」等の事例は避ける。

3. 話すポイント

ジョーク、ジェスチャーなどを交え楽しく話す。  
易しい言葉で話す。(簡単なことでも子供は知らないことが多い)  
座ったままの話は勧められない。机間巡視は有効。  
子供の発言を引き出し、対話形式は有効。  
(名前で指名したり、目のあった生徒を氏名する)  
(ユニークな子、元気な子、応援してくれる子などを、担任から事前に聞いておき、マークし、流れの中でうまく活用する)  
黒板は最高の武器、重要ポイントは板書を(名前や印象的な言葉を書く)  
・ 物を見せる、小道具、ビデオなど使えるものは何でも使う。  
担任の先生や学校を大事にする。  
・ 「勉強、部活動、友達は大切」と先生に代わって話をする  
と感謝される。  
・ 担任の先生からの評価は重要・・・担任も一緒に勉強させてください。  
「生徒が主役、担任の教師が主催者、講師はゲスト」

子供のおかれている環境

子供は近視眼・・・未来を見通す力は備わっていない

21世紀の目覚ましい変化 IT革命

11才の子供が全員インターネットを使う  
大人と同じ情報を持つ

子供が悪いおとなと接触する機会を増やしている

薬物乱用防止教育講師として必要なマナーと知識

- (1) 社会人として、人生の専門家として臨む  
人生をいかに生きるか
- (2) 学校が寄せる期待と信頼に応える努力をする。
- (3) 社会の動向を捉え、常に向上心を持って努力する  
社会ぐるみで薬物乱用を許さない  
本分である勉学を奨励
- (4) 約束した終了時間を厳守することに全力を尽くす

薬物乱用防止教育のポイント

- (1) 「有害性、違法性の知識」と「誘惑を断るスキル」
  - ・ わかりやすく、正確な知識を伝える
  - ・ 脅しではなく、断るスキルを身につける
- (2) ソーシャルスキルトレーニングによる防止教育
  - ・ ソーシャルスキル(社会的技能)とは  
ソーシャル : 対人関係に関すること  
スキル : 知識や経験に基づく技術・技能  
挨拶する、電話をかける、謝る、誉める、仲間に入る、誘いを断る
  - ・ 薬物乱用防止教育としてのソーシャルスキルトレーニング  
言語的教示  
なぜ必要? 学ぶメリット  
モデリング(観察学習、気づき)  
モデル(具体的場面) 観察 気づき  
リハーサル(体験学習)  
実際の行動 改善 繰り返し  
フィードバック  
誉める、修正

#### 小中高生を対象とする薬物乱用防止教育実施プログラム

- (1) 生徒全員が薬物乱用をしていない。この前提に立ち未然予防に徹する
- (2) 厚生労働省・警察庁・文部科学省の方針に沿った事を行うようにする

#### 講演台本作成に於ける組み立て方

- (1) 薬物乱用の被害者にならない知恵を与えられる様工夫する
- (2) 人体に及ぼす被害。家庭、社会に及ぼす被害を述べる。
- (3) 法律違反、犯罪である事を述べる
- (4) 薬物乱用はたった一度でも絶対してはいけない事を述べる

#### 比喩を使った話

##### 脳の非可逆性

イカの刺身      スルメイカ  
ピーマン

##### 未成年の飲酒・タバコ

軽四のタイヤをはいたバス

#### 具体的な内容

自らの意思で、薬をやらない  
1度でも手を出したらダメの原則を遵守する  
第1回の使用を行わせない

自分を守る知恵を与える。薬物乱用犯罪者にならないように  
寝た子はいない!! 寝た子は起こすなは死語  
10代になった気持ちで話す  
経験者は不要  
入手方法、使用方法を具体的に話さない  
学校との打ち合わせ

友達に悪い事を教えるのは、友達ではない

全員が意思が強いので、1回位だったら大丈夫  
と思ってやった

断り方が判らなかつた

子供は日本の宝であり、地域の宝である